



ロータリーは世界をつなぐ

ロータリーの礎は「つながり」です。若い弁護士としてシカゴにやって来たポール・ハリスがロータリーを創設した最大の理由、それは見知らぬ街でほかの人たちと「つながる」ことでした。それから1世紀以上が経った今、私たちの周りには、ポール・ハリスの時代には想像もできなかったような友情とネットワークを築くための方法が数多く存在します。それでも、ロータリーにおける「つながり」は独特であり、ほかに類を見ません。

国際ロータリーには、地域社会とつながり、職業のネットワークを広げ、強くて永い関係構築ができる確固とした使命と構造があります。会員による数多くのプロジェクトやプログラム、ポリオ撲滅活動におけるロータリーのリーダーシップ、国連との協力などを通じ、私たちはグローバルコミュニティとつながっています。私たちの奉仕活動は、同じ価値観を共有し、より良い世界のために行動したいと願う人びとの結びつきをもたらします。また、ロータリーがなければ出会うことがなかった人びと、共通の考えを持った人びと、私たちの支援を必要とする人びととつながり、世界中の地域社会で人生を変えるような活動を行うことを可能にしています。

21世紀の新たな10年の始まりに、私たちはロータリーの未来を形作っています。2019-2020年度、ロータリーは新しい戦略計画を実行に移し、規定審議会が採択した革新性に応え、より活性化された重点分野において活動します。しかし、ロータリーの未来を形作る本当の場所はクラブです。刻々と変化する現実に対応するために、ロータリーはクラブに注力していかなければなりません。

クラブはロータリーでの経験の中心部ですが、今ではクラブのあり方をより創造的かつ柔軟性をもって決めることができます。これには例会の方法や、何をもって例会とするかを検討することも含まれます。会員増強のアプローチにおいては、組織立った戦略的・革新的な方策が必要です。そうすることで、地域社会とのより広く、深いつながりができるだけでなく、より多様な会員に魅力を感じてもらい、積極的な参加を促すことができるでしょう。

実際のところ、ロータリーは家族です。そうであるにも関わらず、会員組織の構造やリーダーシップの要求などがあることで、今日の若い職業人にとってはロータリーが手の届きにくい存在となっているようです。ロータリーは、家族との時間を犠牲にするのではなく、家族との時間を補うような経験を提供する場合の必要があります。クラブが温かく、みんなを受け入れるような雰囲気があれば、家族と奉仕活動は両立でき、家族志向の若い職業人にロータリー奉仕や市民としての参加の機会を提供できます。また、ロータリーの役職に対する期待事項を、多忙な職業人にあわせて現実的かつ管理可能なものとするすることで、将来ロータリーのリーダーとなる次世代のロータリアンのスキルを高め、ネットワークを築くことができるでしょう。

2019-2020年度には、「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマの下、ロータリーの奉仕を通じて、有能で思慮深く、寛大な人びとが手を取り合い、行動を起こすためのつながりを築いてまいりましょう。

2019-2020年度国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー

略歴

マーク・ダニエル・マローニー Decatur ロータリークラブ アラバマ州 (米国)

税法、遺産、農業法を専門とする Blackburn, Maloney, and Schuppert法律事務所の社長であるマローニー氏は、米国南東部・中西部の大手農場経営者の顧問弁護士であるほか、米国弁護士協会の農業関係委員会の委員長を務めています。また、米国弁護士協会とアラバマ州弁護士協会、アラバマ州法律協会の会員です。

地元ジケーターでも熱心に活動し、自身が所属する教会の財務委員長と地元カトリック学校理事長のほか、Community Foundation of Greater Decatur会長、Morgan County Meals on Wheels会長、United Way of Morgan County理事、Decatur-Morgan County商工会議所の所長を務めています。

1980年にロータリークラブ入会し、以来、RI理事、財団管理委員と副管理委員長、ジョナサン・マジニアベ2003-04年度会長のエイドを

務めました。また、規定審議会の議長と副議長、運営議事手続きの専門家、研修者のほか、2004年大阪国際大会委員会のアドバイザー、2014年シドニー国際大会の委員長も務めました。

ガバナーとなる前には、研究グループ交換のリーダーとしてナイジェリアに赴いた経験もあります。

ロータリー財団関連では、未来の夢委員長、ロータリー財団地域コーディネーター、財団研修セミナーのモデレーター、恒久基金米国アドバイザー、平和センター委員、WASH（学校での水・衛生）委員会のアドバイザーを歴任しました。

同じ法律事務所の弁護士であり、ジケーター・ロータリークラブの元会長でもあるガイ夫人とともに、ポール・ハリス・フェロー、メジャードナー、遺贈友の会会員となっています。

2019-20年度 ロータリークラブ対象のロータリー賞

ロータリークラブ対象のロータリー賞は、ロータリー戦略計画の優先事項を支えるために、以下に挙げられた活動項目を達成したクラブを称えることを目的としています。クラブは、これらの項目を達成するために丸1年間をかけて取り組みます。

クラブがMy ROTARYでクラブ・会員の情報を更新している限り、多くの項目の達成状況は、国際ロータリーで自動的に確認することができます。いくつかは、ロータリークラブ・セントラルなどのオンラインツールを使って、クラブが達成状況を入力する必要があります。ロータリー賞の受賞資格を満たすには、年度開始時から終了時までクラブが正規にRIに加盟していることが条件となります。2019年7月1日時点の会員数と比較して算出され、2020年7月1日時点の会員数が確定する2020年8月15日以降に表彰されます。

人びとをつなぐ

以下のうち少なくとも5項目を達成

- 少なくとも5名の会員から成るクラブ会員増強委員会を設置し、その委員長を国際ロータリーに報告する。
- 会員1名の純増を達成する。
- 既存会員と新会員の維持率を維持または改善する：
 - クラブの会員維持率を1ポイント上げる。 または
 - 2018-19年度のクラブの会員維持率が90%以上である場合、これを維持する。
- 女性会員または40歳以下の会員1名の純増を達成する。
- 会員の職業を調べるために職業分類調査を実施し、地域社会にあるビジネスと専門職の実情に沿った会員基盤を築くために活動する。
- 新しいロータリークラブまたはロータリー地域社会共同隊のスポンサーまたは共同スポンサーとなる。
- インターアクトクラブまたはローターアクトクラブを提唱または共同提唱する。
- ロータリー学友のための行事を開催し、ロータリーでネットワークを広げる機会を紹介する。
- 青少年交換学生またはRYLA参加者を派遣する。

行動する

以下のうち少なくとも5項目を達成

- 少なくとも5名の会員から成るクラブ財団委員会を設置し、その委員長を国際ロータリーに報告する。
- 奉仕プロジェクトに関与する会員数を増やす。
- 年次基金への会員一人当たりの平均寄付額が少なくとも100米ドルとなる。
- ロータリーのポリオ撲滅活動への募金または認識向上を目的とした行事を開く。
- ロータリーの6つの重点分野のいずれかにおいて、意義ある社会奉仕プロジェクトまたは国際奉仕プロジェクトを実施する。
- クラブで成功させたプロジェクトの情報（活動の詳細、ボランティア活動に費やした時間、募金額など）をRotary.orgに投稿する。
- 企業、政府団体、非政府団体とのパートナーシップを継続または確立し、プロジェクトで協力する。
- ロータリーブランドのガイドライン、テンプレート、「世界を変える行動人」キャンペーン用広告・資料、その他の関連資料を活用する。
- クラブとロータリーの活動を伝えるためにクラブ会員がメディアと話す機会を手配する。

2019-20年度 ローターアクトクラブ対象のロータリー賞

ローターアクトクラブ対象のロータリー賞は、ロータリーの優先事項を支えるために、以下に挙げられた活動項目を達成したクラブを称えることを目的としています。クラブは、これらの項目を達成するために丸1年間をかけて取り組みます。

ロータリー賞の受賞資格を満たすには、2019年7月1日より前に国際ロータリーにより認定されているローターアクトクラブであることが条件となります。クラブは、2020年8月15日までに、推薦書の提出を通じて、必要項目を達成したことを報告する必要があります。

人びとをつなぐ

以下のうち少なくとも3項目を達成

- 会員1名の純増を達成する。
- 少なくとも50%の会員が、My ROTARYのプロフィールページに自分のスキルと関心を入力する。
- 双子クラブの関係を築く、または維持する。
- 「世界ローターアクト週間」やローターアクト創立記念日にイベントを実施し、報道機関を招いてクラブとロータリーの活動を伝える。
- 提唱ロータリークラブと共に、ネットワークを広げる行事や交流活動に参加する。

行動する

以下のうち少なくとも3項目を達成

- ポリオプラスへの会員一人あたりの平均寄付額が25米ドルとなる。
- ロータリーのポリオ撲滅活動への募金または認識向上を目的とした行事を開く。
- 提唱ロータリークラブと協力し、ロータリーの6つの重点分野のいずれかにおいて、意義ある社会奉仕プロジェクトまたは国際奉仕プロジェクトを実施する。
- クラブで成功させたプロジェクトの情報（活動の詳細、ボランティア活動に費やした時間、募金額など）をRotary.orgに投稿する。
- ロータリーブランドのガイドライン、テンプレート、「世界を変える行動人」キャンペーン用広告・資料、その他の関連資料を活用する。

2019-20年度 インターアクトクラブ対象のロータリー賞

インターアクトクラブ対象のロータリー賞は、ロータリーの優先事項を支えるために、以下に挙げられた活動項目を達成したクラブを称えることを目的としています。クラブは、これらの項目を達成するために丸1年間をかけて取り組みます。

ロータリー賞の受賞資格を満たすには、2019年7月1日より前に国際ロータリーにより認定されているインターアクトクラブであることが条件となります。また、2019年7月1日より前に、成人のアドバイザー（顧問）が、自分の氏名と連絡先を国際ロータリーに報告する必要があります。提唱ロータリークラブの役員またはインターアクトクラブのアドバイザーが、2020年8月15日までに推薦書を提出します。

人びとをつなぐ

以下のうち少なくとも2項目を達成

- 若いリーダーのためのロータリープログラム（RYLA、ロータリー青少年交換など）を会員に紹介するための会合を開く。
- 提唱ロータリークラブまたはアドバイザー（顧問）と協力して、キャリア開発支援またはメンタリング活動を立ち上げ、参加する。
- 提唱ロータリークラブまたはアドバイザー（顧問）と協力して、卒業するインターアクトにローターアクトクラブを紹介する（ローターアクトクラブは大学と地域社会のどちらを基盤としてもよい）。
- 「世界インターアクト週間」やインターアクト創立記念日に活動を実施し、報道機関を招いてクラブとロータリーの活動を伝える。

行動する

以下のうち少なくとも3項目を達成

- 「世界青少年奉仕デー」（Global Youth Service Day）のためのプロジェクトを計画、実行する。
- ロータリーのポリオ撲滅活動への募金または認識向上を目的とした行事を開く。
- 提唱ロータリークラブまたはアドバイザーと協力し、ロータリーの6つの重点分野のいずれかにおいて、意義ある社会奉仕プロジェクトまたは国際奉仕プロジェクトを実施する。
- クラブで成功させたプロジェクトの情報（活動の詳細、ボランティア活動に費やした時間、募金額など）を、提唱ロータリークラブまたはアドバイザーに頼んでRotary.orgに投稿してもらう。
- ロータリーブランドのガイドライン、テンプレート、「世界を変える行動人」キャンペーン用広告・資料、その他の関連資料を活用する。

2019-20年度 ロータリー会長特別賞

なお、今年度は、ロータリー賞の必須項目を達成し、さらに追加項目から1～3項目を達成したロータリークラブに、**ロータリー会長特別賞**が贈られます。

ロータリークラブ対象

ロータリー賞を達成し、さらに以下から1項目を達成した場合「シルバー賞」、2項目達成で「ゴールド賞」、3項目達成で「プラチナ賞」が贈られます。

- リーダーをつなぐ**: 会員5名以上の純増を達成する。
- 家族をつなぐ**: 会員の家族、青少年プログラム参加者や地域社会のそのほかの人たちが参加できる家族志向の奉仕プロジェクトを実施する。
- 職業や専門知識をつなぐ**: 会員のスキルを向上させるため、リーダーシップ、自己研鑽、専門能力開発プログラムなどを開始または継続する。
- 地域社会をつなぐ**: 少なくとも月に4回、ソーシャルメディアでクラブとその奉仕活動の情報を発信し、クラブ会員がいかに「世界を変える行動人」であるかを示す。

ローターアクトクラブ対象

ロータリー賞を達成し、さらに以下から1項目を達成した場合「シルバー賞」、2項目達成で「ゴールド賞」、3項目達成で「プラチナ賞」が贈られます。

- リーダーをつなぐ**: 会員5名以上の純増を達成する。
- 家族をつなぐ**: 会員の家族や友人、青少年プログラム参加者や地域社会のそのほかの人たちが参加できる家族志向の奉仕プロジェクトを実施する。
- 職業や専門知識をつなぐ**: 会員のスキルを向上させるため、リーダーシップ、自己研鑽、専門能力開発プログラムなどを開始または継続する。
- 地域社会をつなぐ**: 少なくとも月に4回、ソーシャルメディアでクラブとその奉仕活動の情報を発信し、クラブ会員がいかに「世界を変える行動人」であるかを示す。

インターアクトクラブ対象

ロータリー賞を達成し、さらに以下から1項目を達成した場合「シルバー賞」、2項目達成で「ゴールド賞」、3項目達成で「プラチナ賞」が贈られます。

- リーダーをつなぐ**: 会員のスキルを向上させるため、リーダーシップ開発プログラムを開始または継続する。
- 家族をつなぐ**: 会員の家族や友人が参加できる家族志向の奉仕プロジェクトを実施する。
- 学業をつなぐ**: 提唱ロータリークラブまたはアドバイザーと協力し、地元のロータリークラブが提供している奨学金やそのほかの奨学金の機会を調べ、クラブにその結果を伝える。
- 地域社会をつなぐ**: クラブとその活動を紹介したビデオを「インターアクト・ビデオ賞」に応募して、クラブ会員がいかに「世界を変える行動人」であるかを示す。